

## 令和4年度 公民科 「政治・経済」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～G組
教科書	政治・経済（東京書籍）	副教材等	政治・経済資料2022(とうほう)

## 1 学習の到達目標

政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会における様々な課題を探究する活動を通して、望ましい解決のあり方について考察を深める。

## 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	第1章 現代の政治	1節 民主政治の 基本原理	1章ごとに、1、2年次の歴史伝統文化へのグローバルな視点からの考察を踏まえ、現代のグローバルな問題の解決策を探求する。また、探求した内容を論述したりする。学習状況に応じて、適宜学習内容を変更する。	○学習態度の観察 ○論述の内容  ○民主政治の成立を支えた出来事について理解したか。 ○「法の支配」と法治主義の違いを考えたか。 ○人権保障の歴史的变化を考察できたか。 ○大日本帝国憲法と比較しながら考察したか。 ○新聞記事などを利用して現実の問題や課題を憲法の理念との関係で考えたか。 ○政党の変遷について調べ、その特徴について考察したか。 ○一票の格差の問題について考察し、選挙制度のあり方について考えられたか。 ○国際連盟と国際連合を比較し、改善点と今後の課題を考察できたか。 ○領土問題について、日本を含めて様々な国家間で未解決の問題があるが、国際平和の維持と安定のためにも、平和的な解決に向けて広い視野にたって継続的に努力する態度が必要であることを認識できたか。
5			2節 日本国憲法の 基本原理	
6		3節 日本の政治 機構	①日本国憲法の制定と基本原理 ②基本的人権の保障 ③平和主義	
7		4節 現代政治の 特質と課題	①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治	
8		5節 現代の国際 政治	①戦後政治と政党 ②選挙と政治意識 ③世論と政治参加	
9			①国際関係と国際法 ②国際社会の組織化と変容 ③国際政治の動向 ④国際政治の課題 ⑤地球環境と資源・エネルギー問題 ⑥地球市民社会に	

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	第2章 現代の経済	1節 現代の資本主義経済	①資本主義体制の成立と発展 ②現代経済の特質	○市場における価格の役割を考察し、その重要性について理解を深められたか。 ○金利や金融機関の役割について理解を深められたか。 ○この時代を象徴する出来事について整理し、その背景について考えたか。 ○日本の国際収支の変遷について調べられたか。 ○第二次世界大戦後の国際経済のおもな出来事を整理してきたか。 ○国際間の経済協力のあり方について考察できたか。 ○EUの歴史的変化を調べ、整理できたか。また、TPPについて考察できたか。 ○国際金融の現状を新聞記事などで調べられたか。
11		2節 現代経済のしくみ	①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能	
12		3節 日本経済の発展と産業構造の変化	①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状	
1		4節 福祉社会と日本経済の課題	①公害と環境保全 ②消費者問題 ③農業・食料問題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉	
2		5節 国民経済と国際経済	①貿易と国際収支 ②経済対立と国際協調 ③発展途上国の経済 ④地域主義の動き ⑤グローバル化する世界経済	
3				

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会における様々な政治的・経済的事象に対して関心をもち、意義や役割、課題解決に向けた取り組みについて意欲的に追究しようとしている。
思考・判断・表現	国際社会における様々な課題について多面的・多角的に考察し、これからの国際社会における日本の役割について自分の考えを適切に表現している。
資料活用の技能	課題解決のために必要な資料を収集し、自分の意見をまとめるために効果的に活用している。
知識・理解	国際社会を理解する上で基本となる事項についての知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、史料活用の技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に判断する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

授業に受け身で参加するのではなく、自分自身で積極的に課題を見つけ、解決する姿勢・意欲をもって臨んでください。